

市政の動き

9月定例会報告
市長総括説明会

8月28日、令和8年第5回豊岡市議会定例会が開会しました。

開会にあたり市長が総括説明を行い、当面する市政の諸課題および提出議案などについて説明しました。その中から主な内容をお知らせします。

なお、市長総括説明の全文については、市ホームページをご覧ください。



子育てに優しいまちへ

■特定不妊治療の交通費助成事業

今年度の新規事業であり、国および県の補助制度の詳細が6月に確認できたため、特定不妊治療の生殖補助医療に係る交通費の助成事業を8月に開始しました。

助成対象者は、特定不妊治療を受けた夫婦のうち、2026年4月1日以降に兵庫県または隣接府県の大阪・京都府、岡山・鳥取県で治療を受けた方です。なお、兵庫県の「不妊治療における先進医療費および通院交通費助成事業」の先進医療を受けた方は、助成対象外です。助成内容は、移動に要した交通費の8割を助成し、助成回数は治療費助成と同一とし、治療費とあわせて申請を受け付けます。

なお、本事業の開始時に、すでに治療費の助成を受けられた対象者は、個別に交通費分の助成申請の案内を行います。

経済が活性化するまちへ

■持続可能な観光地経営の実現のための『宿泊税』の導入

昨年度来「豊岡市観光自主財源検討委員会」で議論を重ね、観光財源確保の有力な選択肢として「宿泊税」が位置付けられま

した。

2018年度以降、観光振興財源のあり方について議論を行った結果、本市の主要産業である観光の力により地域全体の経済活性化を図ること、また、持続可能な観光地経営を実現するには絶え間ない投資が必要ことから、法定外目的税として「宿泊税」を導入する方向で、さらに具体的な検討を進めていきます。

税額は、納税者が理解しやすく、また事業者の事務負担軽減の観点や市内宿泊料金の市場動向などを考慮して、一律定額制の一人一泊につき200円を想定しています。

また、徴収した財源は、中長期的かつ計画的な執行を見据え、基金条例を制定し、管理します。

なお「宿泊税」の導入時期は、2028年度以降を想定しています。

安心安全なまちへ

■危険空家除却支援の促進

4月に「空き家対策室」を設置し、課題の解消や適切な管理に向けた取組みを推進しています。

取組の一つである「危険空家除却支援事業補助金」は、募集開始から1カ月で、当初予算で想定した件数を大幅に上回る申し込みが寄せられました。

危険空家の予防的除却の促進は、市民の安全で安心な生活環境の保全だけでなく、将来的な事故リスクや行政代執行などに伴う多額の公費負担の抑制にもつながる有効な施策です。

このため、本補正予算で12件分を追加し、年間で計24件の危険空家の除却支援を行います。

みんなで集えるまちへ

■中心市街地のにぎわい創出

「菓子祭前日祭」が2023年度に終了し、大開通りをはじめとする中心市街地では、定期的な春のにぎわいが薄れている状況にあります。

このため、持続可能な「官民

共創型」でのにぎわいづくりの実施モデルとして、市が場所や環境を整え、民間団体などが主体となって企画・運営をする共創型の取組について、検討を進めています。具体的には、大開通りの約450メートルを「歩行者専用空間」として開放し「オープストリートデイ(仮称)」を試行的に実施します。市がいわゆる「ホコ天」を用意し、5つ程度のエリアを設定し、公募で選定した民間団体などとともににぎわい空間の創出を目指します。

来年5月の開催に向け、必要な補正予算を今議会に提出します。

ともに未来をつくる行政経営へ

■個人市民税所得割に係る超過課税の廃止

2008年度に廃止した都市計画税の代替財源として、2009年度から固定資産税および個人市民税所得割の超過課税を導入し、2010年度から法人市民税均等割と法人税割も超過課税を導入してきました。

現在、個人市民税所得割の超過課税を導入しているのは唯一本市のみであり「日本一税金が高いまち」として移住定住施策などにも悪影響を与えていました。

超過課税の導入から17年が経過し、人口や財政、社会基盤整備などの状況が変化している現状を踏まえ検討した結果、市民の皆さんの負担軽減を図ることとしました。

2028年度課税分からの廃止を^{めど}に調整を進めていきます。

今回の超過課税廃止に伴い、約5,000万円の減収が生じますが、業務の効率化、職員数の適正化、健康福祉部機能の本庁舎への集約、公共施設の多機能化・複合化や民間活力の活用、さらには事務事業の見直しなどを推進します。

今後も、必要な市民サービスを維持しつつ、行財政運営の効率化を図り、持続可能な市政運営を進めていきます。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。

早期完成へ 道路整備促進大会を開催

8月8日、和田山ジュビターホールで、北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道早期実現促進大会が開催されました。この大会は、北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の早期完成に向けて、これらの道路の重要性や必要性を国や県に訴えるために開催しており、今年で31回目を迎えました。

会場には、国会議員の他、国交省、兵庫県、関係自

治体や住民など約600人が集まりました。地元住民による意見発表では、豊岡総合高等学校2年生の岡本彪雅さんが「この道路は、私たち高校生にとっても未来の可能性を広げる大切な存在です」と、道路に対する想いを伝えました。

今後も、残る区間の早期完成に向けた事業推進を国や県に要望し、一日も早い全線開通を目指します。《問合せ》建設課 ☎29-0010



▲参加者らは、地域の活性化と安心・安全につながる道路の早期開通を願った

◀意見発表をする豊岡総合高等学校の岡本彪雅さん

災害時の物資輸送体制を強化 兵庫県トラック協会と協定締結

8月27日、災害時の物資輸送体制を強化するため一般社団法人兵庫県トラック協会と「災害時における物資の輸送等に関する協定」を締結しました。

この協定は地震や風水害、大規模な火災などが発生した際に、支援物資を迅速かつ効果的に輸送する体制を整えることを目的としたものです。本

市において物資の輸送等に関する協定は2例目となります。

今回の協定を生かし、災害時の支援体制をさらに充実させ、市民の皆さんの安全・安心の確保につなげていきます。

《問合せ》
危機管理課 ☎23-1111



▲門間市長を中央に、左から一般社団法人兵庫県トラック協会の田中淳一さん、横山俊樹さん、小西毅さん、中川英明さん

市政ニュース ～主な市政の動き～



【8月】

- 8日
 - ・北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道早期実現促進大会
- 26日
 - ・熊本地震に係る被災地支援のため職員を派遣(～31日熊本県宇城市)
- 27日
 - ・兵庫県トラック協会との協定締結式
- 28日
 - ・市議会9月定例会(～9月

24日)

- 30日
 - ・市民総参加訓練

【9月】

- 6日
 - ・地域づくり懇談会(豊岡、但東)
- 13日
 - ・城崎温泉交通社会実験報告会
- 18日
 - ・豊岡演劇祭2026(～27日)